

# 平成30年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	63		学校名	茨城県立取手松陽高等学校				課程	全日制		学校長名	小幡 法 男				
教頭名	齊 藤 まさ子								事務(室)長名	梅 澤 美由紀						
教職員数	教諭	42	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	42	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	97
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数			
	普通科		79	81	73	85	63	94			215	260	12			
	美術科		5	25	5	23	5	24			15	72	3			
音楽科		5	18	4	21	1	13			10	52	3				

## 2 目指す学校像

学校・家庭・地域社会と緊密な連携を図りながら、教職員と生徒が協働して全ての教育活動に積極的に取り組み、明るく活力ある学校を目指す。具体的には、全日制普通科・美術科・音楽科を併せ持つ学校の特色を活かし、生徒の「生きる力」の育成と本校発展のために、教職員が明確な目標を持ち、教育実践の充実を図る。

## 3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習や授業における生徒の学習の取組に受け身の態度が見受けられる。</li> <li>目前の学習に追われ、進路等の将来を見通した学習が遅れ、計画的な学習が達成されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の習慣化の徹底を図る。</li> <li>土曜開放の内容充実や課外授業等を通して自主学習を定着させる。</li> <li>公開授業の実施など、授業研究を充実し、指導法</li> </ul>

別紙様式 1 (高)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や課外等が単調になりがちな傾向にある。</li> </ul>	<p>の研究や授業内容の改善を図り、教員一人一人が魅力ある授業を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友と共に学ぶ」略称『とも学』を合い言葉に、AL、記述式を取り入れ、授業の充実を図る。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学希望者が5割を超えており、組織的な進路指導の推進と一般入試で合格できる学力の育成を目指し、努力している。</li> <li>・生徒の目標とした進路を主体的に考えさせ、その進路を実現させるべく、情報収集や指導に努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見据えた進路指導を学校内で共有し、各学年に応じた指導の強化を図る。</li> <li>・保護者の理解と信頼を得るための進路情報提供の徹底や連携の強化に努める。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別指導件数も少なく、全体的には落ち着いた雰囲気である。本年度は日常生活での挨拶や服装・遅刻指導などの規律ある生活態度の育成や、携帯・スマホの適切な使用法の徹底などに努めている。</li> <li>・家庭環境の多様化に伴い、関係機関や諸団体との綿密に務める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、きちんとした制服の着装、遅刻防止を重点項目として指導する。</li> <li>・携帯・スマホのマナー等を徹底する。</li> <li>・登下校時の危険箇所の発見と事故の未然防止に努める。</li> <li>・家庭・近隣高校、中学校・警察や児相等との連絡・相談等の連携を密にする。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動への積極的な参加を奨励している。</li> <li>・学校行事の活動内容の充実を図っている。</li> <li>・部活動加入率（運動部 32%，文化部35%：H29、6月現在）の向上と、維持に努めている。</li> <li>・ホームルーム活動において生徒一人一人の豊かな心を育む教育に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の地域社会にも目を向けて、校内に限らず、校外での奉仕活動を行う。</li> <li>・文化祭やクラスマッチ等を通して生徒会や各種委員会の活動を活性化させる。</li> </ul>
保健・厚生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・安全教育の充実を目指した指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタル面で課題を抱えている生徒に対する理解</li> </ul>

別紙様式 1 (高)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度も保健室の利用が約 5 名／日と自己管理能力の向上が維持されている。継続して取り組みたい。</li> <li>・環境美化活動（文化祭）を通して豊かな人間性の育成を目指す指導を行っている。</li> <li>・清潔な学習環境の整備と充実を図っている。</li> <li>・防災や危機管理のための環境を整備している。</li> </ul>	<p>を深める研修会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内一斉清掃を実施して愛校精神・助け合い・友情を育成する。</li> <li>・生徒の健康情報等を共有して、教職員間の連携を図る。</li> <li>・校内の危険箇所の発見と整備に努める。</li> <li>・震災に備え、緊急時の体制や整備に努める。</li> </ul>
--	--	---

4 中期的目標

<p>普通科・美術科・音楽科を併せ持つ特色ある学校として、すべての学科の生徒が主体的に行動し、崇高な職業観を持ち、進路目標が実現できる進路指導の充実と、創造性と幅広い人間性を育む明るく活力のある学校づくりを目指す。</p> <p>① 地域の信頼と期待に応えるとともに、より開かれた学校づくりを目指す。</p> <p>② 普通科・美術科・音楽科を併せ持つ学校の特色を活かし、全ての生徒が本校の教育環境を活用して、芸術性やたくましく豊かな人間性を育み、広く社会に貢献できる生徒の育成を目指す。</p> <p>③ 教職員の専門性や教科指導の充実を図り、職員一人一人がそれぞれの立場で学校運営に積極的に参加することで、信頼される学校を目指す。</p>
---

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
<p>基本的な生活習慣と学習習慣の定着</p>	<p>① 朝の交通指導を 15 日、登校指導を 150 日以上実施し、挨拶・遅刻指導、端正な制服着用を含めた生徒指導を徹底する。</p> <p>② 毎日の授業を大切にすると同時に、家庭学習習慣の徹底を図るため、保護者の理解と協力を得るように努める。</p>

別紙様式 1 (高)

<p>学力の向上と個別面談の充実</p>	<p>① 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、活動的な魅力ある授業を展開することで、生徒の授業への取組を充実させ、学力向上を図る。</p> <p>② 積極的に課題や小テストを活用することで、家庭学習の時間を増やし、自主学習の習慣を定着させる。</p> <p>③ 年間を通して個別面談を計画的に実施し、進路について主体的に考える力を身に付けさせる。</p>
<p>国公立大学や難関私立大へ挑戦する進学対策の確立</p>	<p>① 受験対策を充実させ、国公立大学合格者数延べ5人、私立大学合格者数延べ150人を目標とする。</p> <p>② 進路講演会や高大連携などの取組を拡大し、生徒の進学意欲を高める。</p> <p>③ 土曜日開放の内容充実やきめ細かい課外指導等により、一般入試で合格できる学力を育成し、一般入試合格者数を増やす。</p> <p>④ 三年間を見通した体系的な進路指導の確立と、新しい学力観に対応した指導法の研究を図る。</p>
<p>特別活動・部活動の活性化による学校生活の充実</p>	<p>① 部活動加入を働きかけ、加入率70%以上を目標とする。</p> <p>② 地域行事への参加や地域の施設などと連携し、奉仕活動や体験活動・国際交流を積極的に推進する。</p> <p>③ ホームルーム活動や学校行事に向けた事前指導を十分に行い、充実した内容となるよう努める。</p>